

## 千田えみ子の「5つの提案」

文京区の貯め込み金

# 632億円

を活用して、暮らしを直接支える

区政に転換を!



### ▶小中学校の「特別教室」の改修を急いで

シビックセンターの建設・改修には、既に約1370億円(毎年平均約50億円)も投入しているのに、老朽化した201室もの「特別教室」の改修は、後回しのまま。庁舎より子どもたちの教育環境を優先させるべきです。

### ▶小中学校の「学校給食」の完全無償化を

保護者の教育費の4割を占める「学校給食」の無償化が、台東・葛飾・北・品川区は今年からスタートします。中央区など9区でも検討中。予定すらないという文京区では約7億円で完全無償化ができます。

### ▶「75歳以上の高齢者の窓口負担」をゼロに

高齢になるほど医療負担は増えていくのに、昨年10月から後期高齢者(75歳以上)の医療費は、1割から2割負担へ2倍となりました(収入が一定額を超える人が対象)。

### ▶シルバーピア、区営住宅、家賃補助制度をつくる

文京区は、シルバーピアは19年間つくり、さらには区立住宅を廃止してしまいました。高齢者、障がい者、ひとり親家庭になっても文京に住み続けられるように住宅政策の転換が必要です。

### ▶「B-ぐる」の空白地域解消を

区民の大事な足「B-ぐる」は、党区議団と地域のみなさんの運動で空白地域だった第3路線(本郷・湯島ルート)がついに実現。

今度は、大塚・千石・白山地域で「第4路線」の実現をめざします。

地域からの「声」

#### 国有地に高齢者施設を

『白山4丁目の国有地をグループホームやシルバーピアに』

#### 商店への支援を

『長引くコロナ禍と相次ぐ物価高騰で中小商店はどこも大変。店舗家賃やリース代、人件費など固定費の補助して欲しい』

#### 駅をバリアフリー化に

『白山駅下側に2機目のエレベータを設置して』



まんだち区議とこうだ区議からのバトンを私、千田えみ子に受け継がせてください

### 戦争は命と健康の“最大の脅威”です

私は40年薬剤師として働く中で、少ない年金や低収入で受診を控えたため持病を悪化させ、来院した時には手遅れ寸前だったご高齢の患者さんを見てきました。こうした立場の弱い人たちが行政が直接支える必要性を痛感してきました。美濃部都政の時代のように高齢者の医療費が無料だったら、どれだけ命と健康を守ることができたことでしょうか。

コロナ感染拡大は3年経過しても収まらず、新たな変異株も発見されています。それでも岸田政権は、「戦争国家」づくりをめざし、軍事費を5年間で2倍化し、43兆円もの「大軍拡」の道に突き進もうとしています。戦争は命と健康の“最大の脅威”です。私は「大軍拡」を必ず阻止しなければと思います。私は命と健康を守るため、区政に挑戦することを決意しました。

私たちの後継者です



萬立幹夫  
区議会議員



私の健康状態がおもわしくなく、「ぜひ後継者に」とお願いしたところ、千田さんは「三日三晩寝れなかった」と悩んだことを語りました。それでも、「私が今まで悩み苦しみ、乗り越えてきた経験をいかして政治を変えていければ天命です」と決意してくれました。

国府田久美子  
区議会議員



千田さんとは、ご長男の事故以来のご縁です。障害を負った子を育てながら薬剤師という専門職をもち、平和・働く人の運動や公害患者支援にとりくみ、いつも前を向いて歩く、明るく強い女性です。私の後継者として最も相応しい人だと確信しています。

いのちを守る  
区政に挑戦!

# 千田 えみ子

せんだ  
恵美子

区議予定候補  
薬剤師



大軍拡と大増税ストップ!  
9条をいかした平和外交を!

## 日本共産党

『文京新聞』2023年春号 文京新聞社発行(島元雅夫 文京区千石1-29-12)  
日本共産党地区委員会は千田えみ子の活動を次のように発表しました。





## 薬剤師40年、 薬剤訴訟に参加 命と健康の専門家 千田えみ子

### もろい保健所で命を守れますか？

今年1月の国内のコロナ感染者は、昨年ピーク時の8月を超える約323万3000人。1月の死者数は1万124人、感染拡大以来初の1万超えで引き続き医療体制が深刻です。

文京区では、昨年8月のピーク時(7月30日～8月7日)には3927人もの新規感染者が出て、保健所は人員不足で対応できず、自宅待機者の健康観察を民間会社に委託するなど深刻な事態になりました。体制のもろさの原因は、2箇所だった保健所を1箇所に削減したこと、保健所費を低く抑えたことです(低さで文京区は23区中ワースト2位)。こんなことを繰り返すようでは区民の命は守れません。

私は、新たな感染症対策として保健所職員の増員と本郷保健所の復活を強く求めています。

## PROFILE.....

●1957年東京都豊島区生まれ。文京区千石3丁目在住。●化学と数学が根っから好きで東京薬科大学へ入学。●1980年薬剤師国家試験合格後、薬剤師として調剤薬局勤務。●1999年長男(当時6歳)が千石1丁目交差点にて交通事故に遭う。その後遺症で脳障がい児となる。●家族/息子と二人暮らし。●人工硬膜薬害ヤコブ病訴訟、B型肝炎訴訟、薬害イレッサ(肺がん治療薬)訴訟、子宮頸がんワクチン訴訟など数々の薬害訴訟に原告や弁護団とともに取り組む。●また、薬剤師として地域住民の命と健康を守ることに関わりながら行政の医療問題にも取り組む。●ノーマア水俣東京支援連絡会事務局員など歴任。



家族揃って。中央が私▲



やっと笑えるようになった息子と



メーデー中央会場で壇上から訴える=21年5月1日

## 障がい者への しっかりした支援を

小1だった息子が1999年11月、交通事故に遭い、後遺症のため歩行困難になり、「1級障害」と認定されました。仕事しながら単身で二人(上に姉)の子どもを育てることへの覚悟はありましたが、それでも辛いことの連続でした。施設で息子は床掃除など他の人が笑顔になることに黙々と頑張ります。そんな姿に、私の深い悲しみが少しずつ溶けていきました。

現在30歳になった息子は、グループホームに入居し、福祉作業所の工賃月3万円の収入と障害者年金・福祉手当とで、一人でも暮らしていけるようになりました。

文京区には、障がい者が入居できる施設が少なく、支援制度も不十分です。私は、障がい者をしっかりと支える施設と、支援制度の拡充も行いたいと思います。



薬剤師(癌研)として勤務中の私

## 公害・薬害患者を 支える社会を

息子の後遺症が縁で水俣病やヤコブ病などの薬害訴訟支援運動に参加するようになりました。支援者の方が「原告から元気をもらおう」と語った言葉に驚き、感動したことを覚えています。仕事をしながら障害を持つ息子を育てる中で、私も大きく変わりました。他人の苦しみ、悩みを自分のこととして受け止めることができるようになりました。そして、訴訟支援を通して、一人だと非力だけど、仲間が手を繋げば、社会を変える力になることも学びました。

公害や薬害などで苦しんでいる人たちを政治が直接支える一こんな当たり前の社会をつくることに、私は全力を尽くしたいと思います。

ヤコブ病とは?…指定難病の一つで、感染因子によって引き起こされる急速進行性の認知症で、記憶障害や歩行困難、脳神経細胞の機能が障害されます。日本では毎年100人から200人の発病が確認されています。

## 千田えみ子さんに期待します！

### 兄・森田(なつめた)敏正さん 元東京土建副委員長

妹のえみ子は小さい時から素直で穏やかな性格でした。高校の時、数学が好きになり、夜遅くまで勉強していたのを覚えています。薬剤師になってからは、家族の健康管理には頼りになる存在で、休みの時でも地域の活動や労働組合の活動にがんばっています。みんなのためにがんばる、この力を、区政でも大いに発揮してもらいたいと思っています。

### 竹藤やすよさん 元東京保健 看護学生対策室・看護師長

国府田区議の後を受け継ぐと聞き驚くと同時に、千田さんなら適任だと思いました。一本筋が通っているし、薬害訴訟支援に取り組むのも並大抵ではできません。息子さんの事故を乗り越えた千田さん、この地域と文京を誰もが住みやすくなるために頑張ってください。

### T.Mさん 千石在住

私の娘と育成室で一緒だった息子さんが生死をさまよう程の交通事故に遭い、障害が残りました。親として受け止めることは大変だったと思いますが、それでも千田さんは働きながら立派に育て上げ、働く人たちの組合の委員長まで引き受けて頑張ってこられました。みんなのために力を尽くすエネルギーを、今度は地域と区政のために全力投入してください。

### 青山光さん 日本共産党東京医療労働者後援会事務局長

千田さんは、困っている人に寄り添う優しいリーダーです。署名に取り組むと、ひとりで多くの団体や組合に訴えて回り、二千筆も集めるがんばり屋さんです。この力を区政でも活かす活躍を大いに期待しています。



### 稲葉真一さん 元自民党都議会議員

新たな時代には新たな政策が必要です。特に貧困対策やひびく医療対策は喫緊の課題です。千田さんは、誰もが公平・公正さを欠くことのないように常に「公憤」ということを念頭にして行動できる人です。

### 嘉瀬秀治さん 日本共産党東京医療労働者後援会会長

千田さんは、医療・介護で働く仲間と共に賃金、労働条件の改善、そして働く女性の運動、薬害運動、平和運動に力を尽くしてきた方です。区政でもいのちと暮らしを守ることもベストを尽くすことを期待します。



### 福手ゆう子都議会議員 (文京区選出)

千田さんは、障害のある息子さんを育てながら、薬剤師として行政支援の必要性を訴え、いのちの尊厳を守るために活動してきた人です。文京区の福祉充実のため、期待します。